質問 2

Murata Software

質問
流体解析・熱流体解析・熱伝導解析はどのように使い分けますか？

回答
・流速、圧力、粘性、乱流など、流れの結果が必要な場合は流体解析を使います。
・流れと温度を同時に求める場合は熱流体解析を使います。温度で密度や粘度が変わる場合もこちらを選びます。
・空気の流速や温度分布が不要で、対流を熱伝達境界に置き換える場合は、熱伝導解析を使います。
　複雑なモデルの場合は、熱流体解析の前に、まず熱伝導解析で定性的な妥当性を確認します。

関連ヘルプ：
https://www.muratasoftware.com/products/mainhelp/desktop/AnalysisUsedByFemtet/DetailsOfAnalysis/bernoulli.htm

muRata
Copyright © Murata Software Co., Ltd. All rights reserved.